

2002年10月15日

JTU発02255号

関係各位

社団法人日本トライアスロン連合

理事長 荒井 憲二

強化本部長 山田 保

強化委員長 会津 伸

指導者養成委員長 山倉 和彦

2002JTUコーチングシンポジウムのご案内

2002年シドニーオリンピックで初めて公式競技として実施されたトライアスロン競技は、これを機にいっそう世間に認知されることとなり、2004年アテネ大会そして2008年北京大会に向けて選手育成が急務である以上に指導者の資質向上も急務になってきております。情報公開をはじめとした地域の指導者の交流とネットワーク作りを推進し、日本トライアスロン界全体の底上げを狙い、以下の通り強化本部、強化委員会ならびに指導者養成委員会合同で「2002JTUコーチングシンポジウム」を開催させていただきます。指導者はもとより選手、地域加盟団体、一般のトライアスリートなどへ参加を広く募集します。参加希望者は以下の募集要項をご覧の上、お申し込み下さい。

記

事業名：2002JTUコーチングシンポジウム

主催：日本トライアスロン連合強化本部・指導者養成委員会

日時：平成14年11月16日(土)午後2時～5時

11月17日(日)午前9時～午後3時

場所：日本体育大学 深沢校舎(電話03-5706-0900)

東京都世田谷区深沢7-1-1

東急東横線自由が丘駅からバス(日本体育大学前)/東急田園都市線桜新町駅徒歩15分

参加費：一般10,000円 JTU登録会員5,000円 ジュニア・学連会員3,000円

参加費は当日徴収させていただきます(領収証発行)

日程：	16日(土)	17日(日)
	13:30～ 受付	9:00～ オープニング
	14:00～ オープニング	9:10～ 講演
	14:15～ 講演	10:40～ 休憩
	15:15～ 休憩	10:50～ 講演
	15:30～ 特別講演	12:20～ 昼食・休憩
	17:00 終了	13:20～ 特別講演
	終了後、懇親会を予定	14:50 終了

特別講演

NPO法人ニッポンランナース 金哲彦氏

「日本のスポーツ界の現状とコーチの役割」

～ 厳しい経済状況に左右されているスポーツ界の
現実と現場だけを考えていればいいコーチから、マ
ネジメントや組織づくりまでを要求されるコーチ
の役割の変化。この時代にコーチはなにを勉強しな
ければならないのか。

特別講演

筑波大学水泳部ヘッドコーチ 萬久博敏氏

「最近のクロールのストロークやトレーニングの傾向」

～ 最近のクロールのストロークやトレーニングの傾
向。パンパシフィック大会の所見など競泳界の最新
情報。

強化委員・指導者養成委員講演（講演順不同）

山田保本部長

「育成・強化のあり方～アテネから北京へ」

飯島健二郎特別強化コーチ

「ワールドカップのレース展開から考える選手の発掘と育成」

会津伸強化委員長

「ジュニア強化の現状と今後の課題」

山根英紀強化副委員長

「筋グリコーゲン」「職業としてのトライアスロンコーチ」

山倉和彦指導者養成委員長

「エイジグルーパーの水泳指導について」

中島靖弘強化委員

「国内外選手のデータとその利用」

山倉紀子強化委員

「ロングディスタンスにおける補給」

松山文人指導者養成委員

「ちびっこ・ジュニアトライアスロン教室総括」

お問い合わせ・FAX返送先

日本トライアスロン連合 TEL 03 - 5469 - 5401

FAX 03 - 5469 - 5403

（FAX返信先：03 - 5469 - 5403）

2002年11月13日（木）締切

氏名	所属
2002JTU コーチシンポジウムに 参加する（両日・16日のみ・17日のみ）	
懇親会に 参加	する ・ しない